

令和3年度 第7回 春日区地域協議会 次 第

日時：令和3年7月27日(火) 午後6時45分から
会場：上越市市民プラザ 第3会議室

延べ1時間40分

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 協議事項

① 地域活動支援事業の審査の振り返り

【40分】

② 自主的審議について

1) 前期委員による自主的審議について

【20分】

2) 今後の審議の進め方について

【30分】

(2) その他

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 令和3年 8月 日() 午後 時 分 から
- 会場 上越市市民プラザを予定
- 内容 (仮)自主的審議について

(2) その他

5 閉 会

令和3年度地域活動支援事業【春日区】審査結果一覧表

配分残額	2,538,000 円
------	-------------

地域活動資金の配分枠：
10,500,000 円 …①

順位	事業番号	事業名	提案団体名	評価結果								事業費 (単位:円)	補助希望額 ② (単位:円)	審査・採択			【参考】 削減率 (③-②)/②	【参考】 配分残額 ①-③の累計 (単位:円)	
				優先 採択方針 適合性判 定	共通審査基準による採点					計	採否			減額の場合		採択額 ③ (削減後補助額) (単位:円)			
					公益性	必要性	実現性	参加性	発展性					調整内容	削減額				
1	春-20	春日山城跡環境整備(桑取道等整備他)事業	春日山城跡保存整備促進協議会	○:18人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.6 (5) (3)	3.9 (5) (2)	4.1 (5) (3)	3.8 (5) (2)	4.0 (5) (2)	20.4	1,315,000	1,210,000	希望額 で採択		0	1,210,000	0.0	9,290,000
2	春-21	謙信流陣太鼓活動支援事業	謙信流陣太鼓	○:18人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.4 (5) (3)	4.1 (5) (3)	4.2 (5) (3)	3.8 (5) (2)	3.8 (5) (3)	20.3	669,640	464,000	希望額 で採択		0	464,000	0.0	8,826,000
3	春-22	「地域の宝」紹介・整備活用事業	岩木1丁目町内会	○:18人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.3 (5) (3)	4.0 (5) (2)	4.1 (5) (3)	3.7 (5) (2)	4.1 (5) (2)	20.2	511,630	500,000	減額し て採択	草刈・整枝等、健康ウォーク事業、ミニ文化祭事業	▲64,000	436,000	▲12.8%	8,390,000
4	春-19	中学生の音楽による地域の絆づくり支援事業	春日中学校後援会	○:17人 ×:1人	平均点 (最高点) (最低点)	4.3 (5) (2)	3.8 (5) (1)	4.1 (5) (2)	3.7 (5) (1)	3.7 (5) (1)	19.6	1,008,150	1,008,000	希望額 で採択		0	1,008,000	0.0	7,382,000
5	春-13	高志地区・安全・安心見守りパトロール事業	高志小学校後援会	○:18人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.1 (5) (3)	3.8 (5) (2)	4.1 (5) (3)	3.6 (5) (2)	3.7 (5) (2)	19.3	226,500	200,000	希望額 で採択		0	200,000	0.0	7,182,000
6	春-10	挨拶運動啓発事業	春日地域青少年育成会議	○:17人 ×:1人	平均点 (最高点) (最低点)	4.2 (5) (2)	3.7 (5) (3)	3.8 (5) (2)	3.7 (5) (1)	3.7 (5) (3)	19.1	899,756	850,000	希望額 で採択		0	850,000	0.0	6,332,000
7	春-07	春日区の交通安全のための交通安全推進活動並びに交差点関連交通安全施設修繕事業	上越交通安全協会春日支部	○:17人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	4.3 (5) (2)	3.9 (5) (1)	3.9 (5) (2)	3.4 (5) (1)	3.4 (5) (1)	18.9	401,500	401,000	希望額 で採択		0	401,000	0.0	5,931,000
8	春-05	安全に安心して暮らせるまちづくり事業(防犯パトロール実施事業)	上越市春日山町3丁目町内会	○:18人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.8 (5) (2)	3.6 (5) (2)	3.9 (5) (3)	3.7 (5) (2)	3.5 (5) (2)	18.5	238,150	238,000	希望額 で採択		0	238,000	0.0	5,693,000
9	春-16	越後謙信さき酒マラソン the world 事業	上越商工会議所青年部	○:16人 ×:2人	平均点 (最高点) (最低点)	3.7 (5) (2)	3.3 (5) (2)	3.8 (5) (2)	3.4 (5) (1)	3.8 (5) (2)	18.0	1,355,520	700,000	減額し て採択	コロナ対策兼帰属意識啓発費(マスク)	▲443,000	257,000	▲63.3%	5,436,000
10	春-02	高齢者の健康づくり活動(まちづくり)と地域交流事業	いきいき春日野	○:15人 ×:2人	平均点 (最高点) (最低点)	3.8 (5) (1)	3.6 (5) (1)	3.7 (5) (1)	3.4 (5) (1)	3.3 (5) (1)	17.8	445,000	445,000	減額し て採択	体のバランス測定、健康講座、健康体操(12回分)	▲145,000	300,000	▲32.6%	5,136,000
	春-03	御館リバーサイド環境美化事業	大豆町内会	○:18人 ×:0人	平均点 (最高点) (最低点)	3.7 (5) (2)	3.4 (5) (2)	3.8 (5) (3)	3.3 (5) (1)	3.6 (5) (2)	17.8	214,600	214,000	減額し て採択	花壇整備のうち管理指導料、クリーン活動	▲44,000	170,000	▲20.6%	4,966,000
12	春-23	大学南町内会行事支援事業	地縁団体 大学南町内会	○:16人 ×:2人	平均点 (最高点) (最低点)	3.7 (5) (1)	3.1 (5) (1)	3.7 (5) (2)	3.5 (5) (1)	3.4 (5) (1)	17.4	208,280	193,000	減額し て採択	防災訓練講師料、防災避難用具	▲110,000	83,000	▲57.0%	4,883,000
13	春-14	春日山周遊スタンプラリー事業	春日商工振興会	○:15人 ×:2人	平均点 (最高点) (最低点)	3.7 (5) (3)	3.2 (5) (1)	3.5 (5) (2)	2.9 (5) (1)	3.5 (5) (1)	16.8	1,422,404	1,420,000	減額し て採択	景品、景品(抽選)、広告代	▲769,000	651,000	▲54.2%	4,232,000
14	春-08	春日区幼年野球育成事業	高志ビクトリーズ	○:15人 ×:3人	平均点 (最高点) (最低点)	3.4 (5) (1)	3.0 (5) (1)	3.6 (5) (2)	2.8 (5) (1)	3.4 (5) (1)	16.2	938,000	638,000	減額し て採択	スポーツマスク、自主催大会表彰用品(2大会)、白スパイク	▲416,000	222,000	▲65.2%	4,010,000
	春-17	春日野デュークス幼年野球育成事業	春日野デュークス	○:14人 ×:4人	平均点 (最高点) (最低点)	3.5 (5) (1)	3.1 (5) (1)	3.6 (5) (2)	2.8 (5) (1)	3.2 (5) (1)	16.2	359,034	359,000	減額し て採択	試合球【1/2】、吸水ローラー用替えスポンジ【2/3減額】	▲113,000	246,000	▲31.5%	3,764,000
16	春-11	ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業	謙信ジュニアバレーボールクラブ	○:15人 ×:3人	平均点 (最高点) (最低点)	3.6 (5) (1)	3.1 (5) (1)	3.4 (5) (2)	2.7 (5) (1)	3.2 (5) (1)	16.0	483,620	318,000	減額し て採択	公式試合参加費、公式試合交通費【1/2】、練習会交通費【1/2】	▲141,000	177,000	▲44.3%	3,587,000
	春-24	春日地区地域子育て支え合い事業	食育サークル mamma	○:15人 ×:3人	平均点 (最高点) (最低点)	3.2 (5) (1)	3.1 (5) (1)	3.2 (5) (1)	2.9 (5) (1)	3.6 (5) (1)	16.0	89,756	51,000	希望額 で採択		0	51,000	0.0	3,536,000
18	春-15	春日山モルツ ミニバスケットボールクラブ事業	春日山モルツ	○:14人 ×:4人	平均点 (最高点) (最低点)	3.3 (5) (1)	3.1 (5) (1)	3.6 (5) (2)	2.7 (5) (1)	3.2 (5) (1)	15.9	980,600	980,000	減額し て採択	市外遠征費【1/2】	▲470,000	510,000	▲48.0%	3,026,000
19	春-12	中学生バレーボールの普及及び青少年健全育成事業	春日バレーボールクラブ	○:15人 ×:3人	平均点 (最高点) (最低点)	3.4 (5) (2)	3.1 (5) (1)	3.4 (5) (2)	2.5 (5) (1)	3.3 (5) (1)	15.7	674,477	650,000	減額し て採択	試合用メインユニフォーム【1/2】、試合用サブユニフォーム【1/2】、指導者謝礼	▲305,000	345,000	▲46.9%	2,681,000
20	春-18	春日野少年野球育成事業	春日野少年野球	○:14人 ×:4人	平均点 (最高点) (最低点)	3.3 (5) (1)	3.0 (5) (1)	3.5 (5) (2)	2.7 (5) (1)	2.9 (5) (1)	15.4	93,525	93,000	希望額 で採択		0	93,000	0.0	2,588,000
21	春-01	春日野いきいきサロン事業	春日野いきいきサロン	○:13人 ×:4人	平均点 (最高点) (最低点)	3.1 (5) (1)	2.9 (4) (1)	3.4 (5) (1)	2.5 (5) (1)	2.7 (4) (1)	14.6	76,000	75,000	減額し て採択	交通費【一部減額】、休憩料、消耗品等	▲25,000	50,000	▲33.3%	2,538,000
22	春-09	高齢者の生きがいづくりと地域交流事業	わくわく歌声クラブ	○:13人 ×:5人	平均点 (最高点) (最低点)	2.6 (4) (1)	2.4 (5) (1)	2.8 (5) (1)	2.3 (4) (1)	2.7 (5) (1)	12.8	330,000	320,000	不採択	全項目	▲320,000	0	▲100.0%	2,538,000
計											12,941,142	11,327,000			▲3,365,000	7,962,000			

令和 3 年度

地域活動支援事業応募の手引き(春日区)

私たちの地域をもっとよくする
「まちづくり活動」の提案を募集します！

- ★ 身近な地域における課題の解決を図り、それぞれの地域の活力を向上するため、市民の皆さんが自発的・主体的に行う地域活動に対して支援を行います。
- ★ 私たちの地域を、もっと住みよく、もっと元気にするために、この事業を活用し、まちづくり活動に取り組んでみませんか。
- ★ 令和 3 年度に実施する事業の提案を以下のとおり募集します。奮^{ふる}ってご応募ください。

● 募集期間

4 月 1 日(木)から 4 月 21 日(水)まで【必着】

※ 土日や閉庁後など業務時間外に受付を希望される方は、予めご相談ください。

郵送の場合は、
4 月 21 日の
消印まで有効

● 実施方法

★ 事業の内容

団体等が主体的に取り組む「身近な地域での課題の解決や活力の向上」のための活動(=事業)のうち、所定の審査を通過したものに対し、市が補助金を交付します。(活動の種類や分野は問いません。)

【ご注意ください!!】次のような事業は対象となりません。

- ① 物品の購入や施設等の整備・修繕のみを目的とした、活動を伴わない事業
- ② 政治活動・宗教活動を目的とする事業
- ③ 公序良俗に反する事業
- ④ 国・県・市の他の補助制度と重複して助成を受けようとする事業
- ⑤ 市に大規模な施設の設置や開発を求めるために行う事業(事業計画の策定や推進のための会議など)
- ⑥ 行政サービスの提供や公共施設の整備等を市に求める事業

★ 提案できる人

5 人以上で構成する市内で活動する法人または団体の皆さんです(政治活動や宗教活動を目的とする法人等及び営利法人を除く)。新しく立ち上げた団体等も対象となります。

★ 事業の実施期間

令和 4 年 3 月 31 日まで(経費の支払い、実績報告書の提出を含む)

※ 地域活動支援事業は、市民の皆さんが自ら補助金の使い道を考え、活動することを通じて、市民の皆さんに「自治」や「地域づくり」について考えていただく機会でもあります。

※ この趣旨を踏まえ、地域協議会では、地域の課題や目指すべき姿を議論していく中で、それぞれの思いを採択方針や事業の審査に反映することとしています。

● 支援内容

★ 事業の目的を達成するために直接必要な経費を補助します。

【ご注意ください!!】 次のような経費は対象となりません。

- ① 事業提案や実績報告などに要する事務的な経費（提出資料のコピー代や郵送代等）
- ② 提案団体等の運営に要する経費（人件費・事務所の家賃等）
- ③ 提案団体の構成員が飲食を行う経費（弁当代やイベント終了後に行う懇親会の食事代等。作業に参加した人へのお茶代・菓子代は対象経費に含めることができますが、審査の結果、補助の対象とならない場合があります。）
- ④ 会議の時のお茶代・菓子代
- ⑤ 金券等（商品券・サービス券等）の発行に係る経費
- ⑥ その他、対象とすることが適当でないと市長が認めた経費

● 補助金の額

春日区の予算(配分額)：1,050万円

補助率：10/10(100%)以内 補助下限額：5万円(5万円以上の事業が対象)

※ 補助希望額の総額が予算額(配分額)に満たない場合でも、審査により減額する場合があります。

- ・ 補助金額は、春日区の予算（配分額）の範囲内で決定します。
- ・ 補助金額は千円単位です。（千円未満の端数は、応募団体等の負担となります。）
- ・ 提案事業の審査の結果、不採択となり補助金の交付が行われない場合や、補助希望額どおりとならない場合があります。

● 応募方法

★ 事業提案書の提出

所定の事業提案書に必要事項を記入し、資料（団体の規約、見積書^{※1}、図面など）、「春日区地域活動支援事業 事業提案に係る確認事項」とともに、中部まちづくりセンターに郵送^{※2}（4月21日の消印まで有効）または持参等で提出してください。

- ・ 提案に当たっては、「地域活動支援事業に関するQ&A」を必ずお読みいただき、詳細についてご確認ください。（応募に必要な様式及びQ&Aは、まちづくりセンターの窓口で配布するほか、市のホームページからダウンロードすることができます。）
- ・ 補助の決定前に事業に着手した場合も補助の対象となります（事業提案書の提出日以降の活動に限る）が、審査の結果、不採択となる場合や補助希望額どおりとならない場合があります。
- ・ 自己所有以外の土地等を利用する事業を提案するときは、土地所有者等と事前の相談を行ってください。（審査終了後に、所有者の承諾書を提出していただく必要があります。）

※1 1件あたり10万円以上の経費については、2者以上の見積書の添付が必要です。

※2 新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、郵送等での提出にご協力ください。

● 提案事業の審査

★ 審査の進め方

- ✓ 提案事業の審査は春日区地域協議会が行い、その結果を踏まえて市が補助を行います。
- ✓ 春日区地域協議会の審査では、すべての委員が「Ⅰ採択方針」に適合するかどうかの判定と「Ⅱ共通審査基準」に基づく採点を行ったのち、協議によって総合的に採否を判断します。
- ✓ 提案事業を実施する意義や活動の内容を正しく理解するため、プレゼンテーション審査を実施します。**プレゼンテーション審査には、すべての団体の出席をお願いします。**

Ⅰ採択方針 … 地域自治区が抱える地域課題等に応じて、どのようなテーマの事業を実施すべきかを明らかにしたものです。

地域住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるとともに、春日山城跡を中心とした豊かな歴史、文化と自然の宝庫を活かし、保存整備を基本とした環境整備のため、住民が自主的・主体的に取り組む事業のうち、次に掲げる事業を優先的に採択する。

- 行政と住民、NPO など団体と住民が協働して取り組む、または住民が主体となって取り組む地域づくり事業
- 地域住民が心豊かで安全安心に暮らせる住みよいまちづくりを進める事業
- 春日区の自然景観と観光資源の整備活用を図る事業
- 観光に関係するイベントの企画、実行や特産品開発などにより、地域力の向上に資する事業
- 関係団体や地域住民の総力をあげた環境への関心向上のための事業
- 春日山を中心とした地域の自然・里山・歴史等を学ぶ事業
- 芸術・文化・スポーツを通じた活動により、地域の活性化に資する事業
- 地域住民が互いに尊重し理解を深め、繋がりを形成できる事業

Ⅱ 共通審査基準 … 全市共通の項目と視点により採点します。

審査項目	審査の視点	配点
①公益性	・ 提案事業の成果が広く地域に還元されるものか。	5 点
	・ 補助金を充てて購入した物品や修繕した施設等が、長く地域で活用される見込みがあるか。	
	・ 全市的な方向性と合致しているか。	
②必要性	・ 提案者以外の市民や団体等に不利益を与えるものではないか。	5 点
	・ 地域の課題解決や活力向上に効果が見込まれる取組であるか。	
	・ 地域の実情や住民要望に対応したものか。	
	・ 緊急性の高い提案事業であるか。	
③実現性	・ ほかの方法で代替できないものであるか。	5 点
	・ 補助金を充てる経費が、提案事業を実施する上で不可欠なものであり、その規模も必要な限度となっているか。	
	・ 目標（達成すべきこと）や事業内容が明確なものか。	
④参加性	・ 関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか。	5 点
	・ 資金調達規模や時期に無理はないか。	
	・ 提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか。	
⑤発展性	・ 提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか。	5 点
	・ 新しい発想が感じられる取組や、先進的な取組であるか。	
	・ 事業の終了後における自立性や発展性は期待できるか。	
	・ 提案団体に、信頼性や将来性はあるか。	

● Q&A

Q 事業で備品を購入してもよいですか。

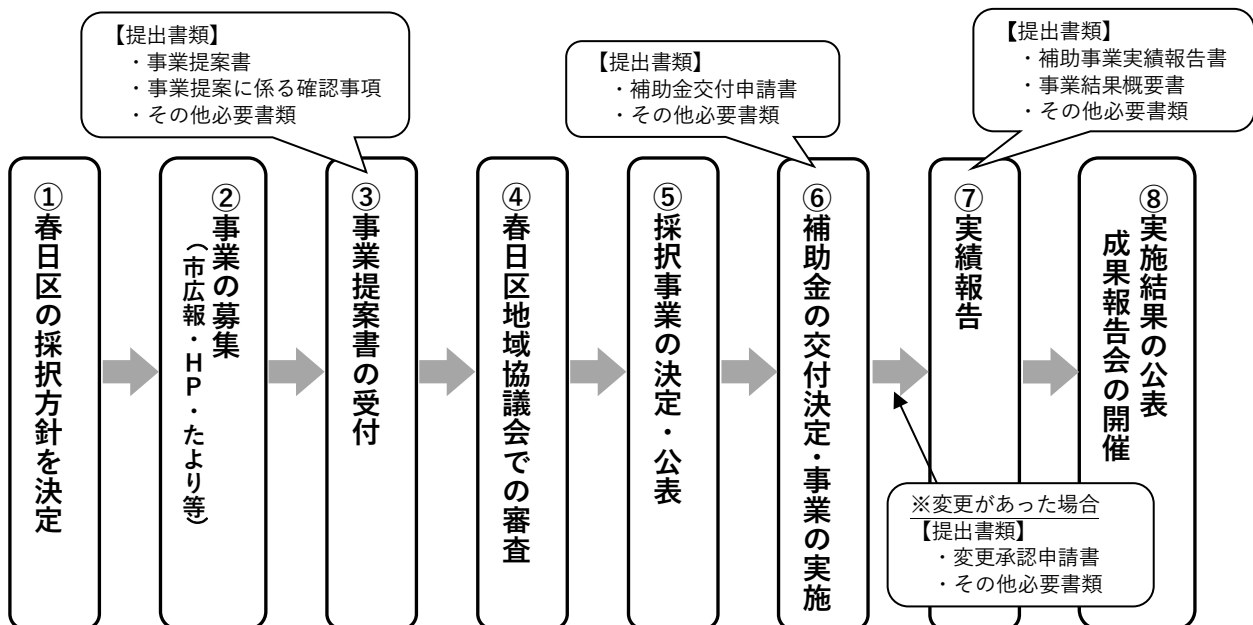
A 基本的にはレンタル等で対応してください。しかし、地域の課題解決や活力向上を図るための活動に不可欠な備品であることを前提に、備品の使用頻度や費用面を考慮した結果、購入の方がメリットが大きい場合や、レンタル等ができない場合は、補助の対象とすることができます。この場合、レンタル等で対応できない理由や償却期間までの活用予定、管理体制などを確認させていただきます。

Q 多忙のためプレゼンテーションに出席できません。

A 代表の方の出席が難しい場合は、代理の方の出席をお願いします。代理の方の出席も難しい場合は、プレゼンテーション開催日とは別にご説明いただく機会を設けるなど、すべての提案についてプレゼンテーション審査が行えるよう調整します。

※ ご不明な点がございましたら、中部まちづくりセンターまでお気軽にお問い合わせください。

● 事業の流れ



● 事業の紹介・公表

提案いただいた事業や採択事業は、市民の皆さんにその内容を広くお知らせするため、報道機関に情報提供を行うほか、市のホームページなどで紹介します。また、実施した事業について、事例集の作成や成果発表会を予定していますので、事業を提案される場合は、あらかじめご承知おきください。

● ご相談・ご応募先はこちらです！

担当する地域自治区	事務所	所在地
春日区・新道区 諏訪区・津有区 高士区	中部まちづくりセンター	〒943-0821 上越市土橋 1914-3 (上越市市民プラザ 2 階) ☎ 025-526-1690 (直通) FAX 025-522-2678 E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp



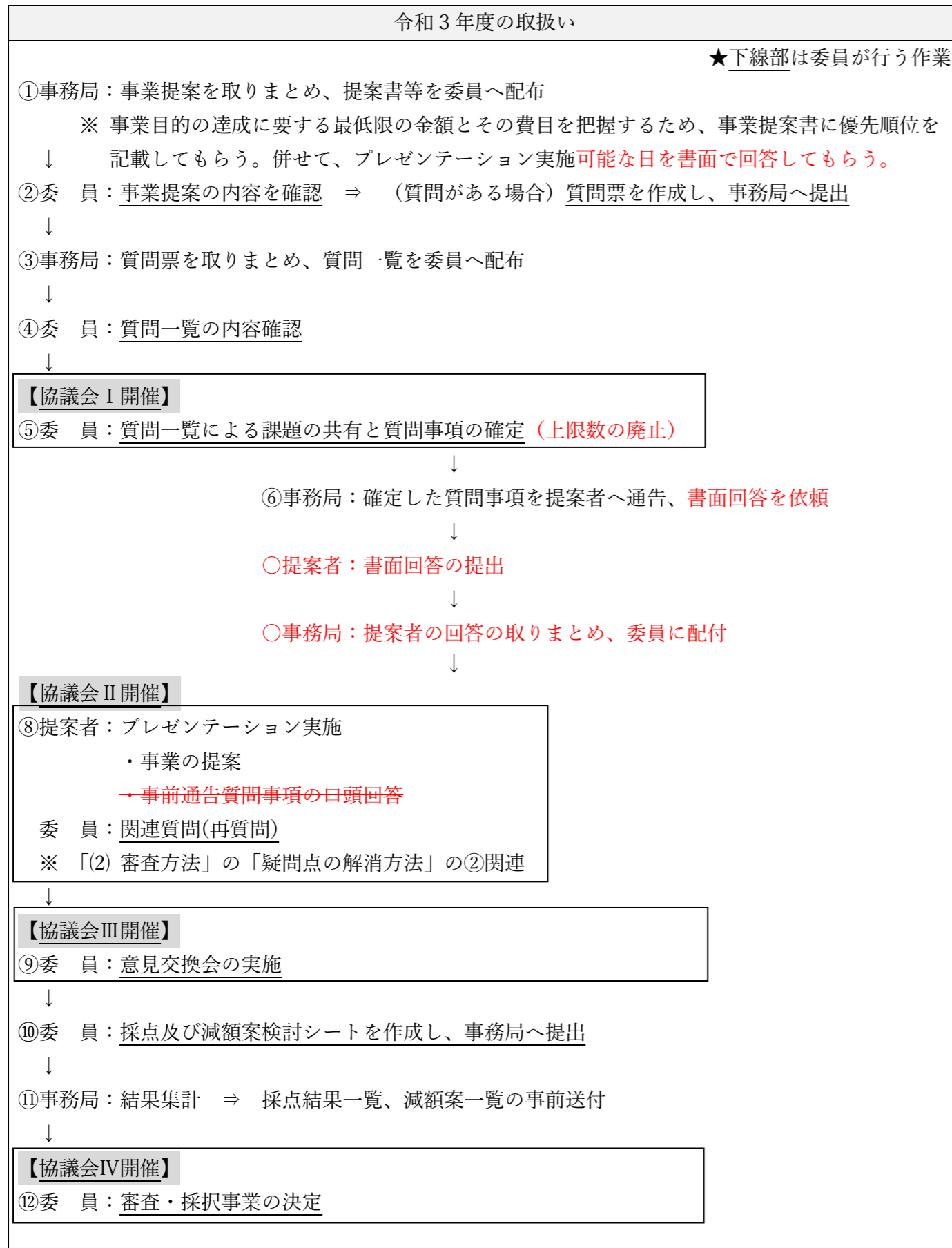
上越市

自治・市民環境部 自治・地域振興課

※赤字は前年度からの変更点

1 審査から採択決定に至るまでの流れ

(1) 審査の流れ



(2) 審査方法 (※ 資料2-1に記載する事項は記載を省略)

項目	令和3年度の取扱い
疑問点の解消方法	①提案者には <u>原則的にプレゼンテーションを実施してもらう (プレゼンテーションへの参加を必須とし、提案者の都合を踏まえて開催を決める)</u> 。 ②プレゼンテーションでは、委員は提案団体に事前に通告した質問の回答に不明な点がある場合のみ再質問することができる。 その場合、進行役(アンカー)が内容を判断し、整理し、提案者に回答を求める。
順位付けの方法	① 共通審査基準の平均点の合計得点が高い順に順位付けを行う。 ※ 採択方針への適合判定結果は、採否並びに採択額決定時の参考とする。 ② 「評価の低い事業」とする基準 ・「採択方針」の適合性 (○または×) … 委員の <u>2/3 以上</u> が採択方針に“適合しない”と判断する事業 ・共通審査基準に基づく採点 (5点~1点) … 共通審査基準5項目のうち、 <u>1つでも平均点が2点未満</u> の事業 ※ 「評価の低い事業」は、事務局で順位付けを行わず、協議会で採否を協議する (上記①で順位付された事業の下位に置く)。
補助率	10/10 以内(審査・採択の過程で減額等の対応が可能)

2 採択事業と採択額の決定方法

項目	内容	今年度の方針
①採択事業の仮決定	不採択とすべき事業を仮決定する。(※下位の事業から)	・集計結果の順位を参考にして <u>仮決定</u> ※採択事業となっても、採択額の協議の過程で予算配分ができず、実質不採択となることがある。
②採択額の仮決定	採択すべき事業の採択額(補助額)を仮決定する。(※上位の事業から)	・補助総額が配分額に対して、どの程度になるかを見極めるため、集計結果を原則として尊重して採択額を仮決定
③採択事業と採択額の本決定	仮採択並びに決定額の妥当性を検証する。	・仮採択事業を再確認し、必要に応じて調整 ・また、不採択並びに減額対応とした提案について、提案者に説明する <u>判断理由</u> を確認・整理

3 申し合わせ事項

項目	今年度の方針
委員が <u>提案団体の関係者である場合</u> の当該事業の審査	・関係者である委員は、当該事業を擁護する発言を自粛する。 ・代表者である委員は、当該事業のプレゼンテーションへの参加(説明)を自粛する。 ・代表者等(会長、副会長、会計)である委員は、 <u>当該事業の採点・採決を行わない</u> 。 ※審査の公平性・公正性を保つ観点から上記の対応をとるもの。

これまでの自主的審議事項の 検討内容(春日区) 写

【参考】SWOT分析とは…

全体評価を行うための分析手法で、Strength(強み)、Weakness(弱み)、Opportunity(機会)、Threat(脅威)の4つの視点から評価を行う。事業単位を内部環境(強み・弱み)と外部環境(機会・脅威)に分けて評価、分析する手法のこと。
(①内部環境分析では、資源の分析から強みと弱みを分析していく。②外部環境分析は、直接影響を与える環境と間接的な環境とに分けて機会と脅威を分析していく。)

機会 (Opportunities)

1. 北陸新幹線の開業によって首都圏や関西圏、北陸方面への交通利便性の向上のみならず、交流人口の拡大や来訪者の滞在時間の増加等、様々な開業効果が期待できる。
2. 山麓線の全通や上信越自動車道の4車線化により山麓線沿線等の更なる発展(大型観光施設の立地など)が期待できる。
3. 新たな宅地開発やふるさと志向の高まりにより、周辺地域や首都圏等からの転入による人口増加が今後も期待できる。
4. 地域外からの転入者が多く、多様な価値観を持つ住民がいることにより、地域活性化への新たな発想や展開が期待できる。

脅威 (Threats)

1. 並行在来線の経営難(運賃の増額や利便性低下)が懸念される。
2. 交流人口の拡大による治安や生活環境の悪化が懸念される。
3. 新幹線開業によるストロー減少や長野・北陸間や佐渡ヶ島への通過点となってしまうことが懸念される。
4. 少子高齢化と核家族化が更に進行することにより、独居老人世帯の増加が懸念される。
5. 福祉拠点の一つである春日山荘の老朽化に伴い、施設の移転や廃止が懸念される。
6. 謙信公ブームの盛り下がりにより、リピート率の低下が懸念される。
7. 地域活性化のための論点が春日山関連に集まりがちである。

強み (Strengths)

1. 海・山に近く、景観・眺望が良好な自然環境に恵まれた居住ニーズの高い地域である。
2. 上杉謙信公の出生・居住地であり、上越市のシンボリックな存在である。
3. 国内最大規模の山城である春日山城がある。
4. 春日山城以外にも潜在的な観光資源(歴史・自然)が豊富にある。
5. 地域の祭の核となる謙信公祭が開催される。
6. 上越市の中心部に位置する市の中核地域である。
7. 高速道路のインターチェンジが隣接区に2箇所あるほか、基幹道路である山麓線や謙信公大通りが通る道路交通網に恵まれた地域である。
8. 28区中最も人口が多い地域であるうえ、生産年齢人口や子供達の人口比率が高い地域である。
9. 商業施設や小規模医院の立地が多く生活利便性に優れた地域である。
10. 上越教育大学をはじめ、文教育施設が充実している。
11. 開発可能なスペースが残されている。
12. 市役所等の公共施設が多く立地している。
13. 第3次産業(商業・サービス業)の就労場所が多い。
14. 海拔の高い住宅地が多くあり、水害や津波による被害を受けにくい地域である。

弱み (Weaknesses)

1. 観光案内所やタクシーの停留所がなく、観光施設も散在しているほか、案内看板も不十分であり、魅力的な観光ルートが確立していない。
2. 代表的な土産物や特産品がない。
3. 冬期間の観光スポットやイベントが少ない。
4. 春日山城跡が史跡指定されたことにより土地利用に制限がある。
5. 地域内に救急指定病院となっている規模の大きい総合病院がない。
6. 単身世帯(アパート)が多く、転出入も多い。
7. 価値観の変化により地域活動への参加意欲が減退傾向にある。
8. 新旧住民や各種地域団体の交流機会が少なく一体感や連携体制に乏しい
9. 高速道路と鉄道により地域が分断されている。
10. 若者が楽しめるレジャー施設が少ない。
11. 第2次産業の就労場所が少ない。(製造工場の立地に適当なインフラ環境ではない。)
12. 消防署が地域内になく、緊急車両の到着に時間を要す。
13. 春日山という地域資源に対して地域全体の宝としての共有感が薄い

今後検討していきたい事項

① 高齢者等が心豊かに健康で暮らせる春日区とする方策を検討したい

- ◇ 高齢者が集う場を作りたい
- ◇ 高齢者の健康の維持増進に向けた地域ぐるみで行う取組を検討したい
- ◇ 元気な高齢者が活躍できる機会を増やす取組を検討したい

② 春日山城跡の観光振興策を検討したい

- ◇ 周遊性の向上を図るため、観光コースや案内看板等を充実させたい
- ◇ 具体的な観光ビジョンを確立したい(選択と集中)
- ◇ 特産品を掘り起し、磨きあげて地域産業の活性化と外貨獲得につなげたい
- ◇ 山麓線沿線にのぼり旗を通年設置したい

③ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策を検討したい

- ◇ 狭^{きょうあい}隘歩道や踏切等の危険箇所を洗い出し、その改善策を検討したい
- ◇ 誰もが安全に闊歩できる春日区とするための取組を検討したい
- ◇ 自然災害に強い春日区とするための方策を検討したい

自主的審議の結果について

1. テーマ	【福祉分科会】 あらゆる世代が心豊かに健康で暮らせる春日区とする方策について	【観光分科会】 春日山城跡の観光振興策について	【安全・安心分科会】 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について
2. 検討の視点	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 各世代が集う場を作りたい。 ➢ あらゆる世代の健康の維持増進に向けた地域ぐるみで行う取組を検討したい。 ➢ あらゆる世代が元気に活躍できる機会を増やす取組を検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 周遊性の向上を図るため、観光コースや案内看板等を充実させたい。 ➢ 具体的な観光ビジョンを確立したい。（選択と集中） ➢ 特産品を掘り起し、磨きあげて地域産業の活性化と外貨獲得につなげたい。 ➢ 山麓線沿線にのぼり旗を通年設置したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 狭隘歩道や踏切等の危険箇所を洗い出し、その改善策を検討したい。 ➢ 誰もが安全に闊歩できる春日区とするための取組を検討したい。 ➢ 自然災害に強い春日区とするための方策を検討したい。
3. 検討の方向性	<p>★ 今、地域にある多くの「団体」や「活動」をつなぎ、世代間交流の場や機会をつくる。 (各町内会共通の課題「地域の子供は地域で育てる」等)</p> <p>★ まちづくり振興会のような組織づくりを提案したい。</p> <p>① 地域の関係団体・組織に協力を仰ぎ、意見交換会を開く。(事前にアンケートをとって、地域課題・改善案などをまとめておく)</p> <p>② 「意見書」の提出</p>	<p>★ 魅力ある計画をつくり、実施団体を探す。</p> <p>① 謙信ロードの構築と歓迎旗の常設設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上越 IC から山麓線入口を「謙信ロード」と位置付けてのぼり旗を設置し、通年謙信公を認知してもらう。 <p>② 特産土産品の企画、開発、販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青苧^{あおぞ}パン、アイスクリームなどで謙信公を偲ぶ。 <p>③ 体験型観光を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 甲冑を試着できる。(埋蔵文化財センター) ・ 甲冑は、地域活動支援事業で購入した団体と調整 	<p>★ 地域のことを勉強し、今期の到達点を来期に引き継ぐ。</p> <p>① ハード面「交通危険箇所の交通安全対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 危険箇所の洗い出し → 「意見書」の提出 <p>② ソフト面「ア：防犯パトロールの水平展開」</p> <p>「イ：空き家・高齢者問題」</p> <p>「ウ：勉強会」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員自身が勉強 → 意見交換を実施 → 次年度への方針策定
4. まとめ	<p>【実施事項】</p> <p>① 地域の連携強化による課題解決の促進</p> <p>地域の課題共有と課題解決のための連携の足掛かりとして、町内会長（町内会長連絡協議会）との懇談会を開催し、地域の課題等について意見交換を実施した。</p> <p>② 「意見書」の提出（※未実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における連携の仕組みを具体化するため、他地域との交流により実態を調査した。 <p>【申し送り事項】</p> <p>① 地域の連携強化による課題解決の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会長協議会をはじめ、民生委員やその他の福祉関係団体との懇談による課題の把握と解決に向けた検討 ・ 各種団体との懇談を通じた世代間交流の機会の具体化 	<p>【実施事項】</p> <p>② 特産土産品の企画、開発、販売</p> <p>春日山城跡等に関連した素材を用いた土産等の試作と販売の可能性（特産土産品としての可能性）を探った。具体的には、素材を青苧に定め、民間事業者の協力により、青苧を使った揚げ物を試作することができた。</p> <p>【申し送り事項】</p> <p>①③ 歓迎旗の常設、体験型観光の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大型バス観光駐車場の整備や案内看板の設置等とあわせた検討 ・ 地域内外の関係団体との連携の模索 <p>② 特産土産品の企画、開発、販売（観光振興に向けた青苧の活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青苧をいかした観光振興に向けた地域との連携機運の醸成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(例 1) 関係団体との情報交換等を通じて、市の支援制度等の活用を働きかける。</p> <p>(例 2) 地域活動支援事業の採択方針で優先的に採択できるような位置づけ、特産土産品開発の実施団体を掘り起こす。</p> </div>	<p>【実施事項】</p> <p>① 「交通危険箇所の交通安全対策」に係る意見書の提出</p> <p>交通事故の防止に向け、交通危険箇所の現地確認や市担当課からの情報収集を行い、町内会長協議会の賛同を得て意見書「春日区における冬季の通学路の安全確保について」を提出した。</p> <p>② ア・イ・ウ 春日区のリスクに関する検討</p> <p>勉強会の開催により、春日区のリスクに対する対策を検討したほか、町内会長との情報交換会において、水害対策等に係る課題意識を共有した。</p> <p>【申し送り事項】</p> <p>① 交通危険箇所の交通安全対策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 意見書回答のフォローアップ ・ 新たな交通危険箇所の洗い出しと改善策の検討 <p>② 安全・安心に係る勉強会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 春日区の防犯対策や空家対策の現状の把握 <p>③ 東日本台風による浸水被害の把握と対策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浸水被害についての調査と防災・減災対策の検討※ <p>(※関川支流の水門管理の在り方や排水機場設置の必要性を含む)</p>

※ 「4. まとめ」は、現協議会委員の検討結果を次期協議会委員に伝達し、今後の取組を提案するものです。今後の取組については、次期協議会委員の審議により決定します。